

命をはぐくむ税金

行田市立長野中学校

一年 中村 萌

私には、三歳になる可愛いとこがいます。生まれた時からオムツを替えたり、だっこしたり弟のように可愛がっています。私にとつてもいとこの誕生はすごくうれしい事だったけれど、私の叔父叔母であるいとこの両親にとつては本当に奇跡のような事でもんなが喜んでいました。それというのも叔父叔母夫婦にはなかなか赤ちゃんが授からず不妊治療を長い間していたと聞きました。私はくわしいことはわかりませんが、毎日注射したり私から見ても叔母はすごく大変そうに見えました。子供が大好きで、私達にもすごく優しくしてくれる叔父叔母にはなかなか子供ができないのに、赤ちゃんを虐待したりして死なせてしまったニュースなどを見るとなんでだろう、とすごく辛くて悔しくて心が痛みました。不妊治療にはすごくお金がかかると思います。それと同時に今、不妊に悩み治療をしている人がたくさんいるということを知りました。そのような人たちのために、不妊治療助成金というのがある事を知りました。それも税金の大切な使われ方です。不妊治療助成金もそうですが、妊婦検診や出産一時金など赤ちゃんを産むときにかかるお金の補助もたくさんあることを知りました。また、生まれてからも医療費無料や今年からは幼稚園も無償化になるそうで、生

まれて成長していく過程でもたくさん補助があることを改めてよくわかりました。今、少子高齢化が問題になっているなかで、生まれる前から生まれた後もそして私達のような中学生になつてからも税金に助けられていることを知りありがたいと思えました。またその他にも税金は公共施設の建設など私たちの暮らしを大きく支えてくれています。

私たちの住み良い暮らしに役立つ税金に感謝しながら、自分も大人になつたらしっかりと納めて、少しでも社会のためになればいいなと感じました。また私は、十月から最も身近で私もよく払う消費税が八パーセントから十パーセントへ上がるということを聞いて、正直最初は少し不満をいだきました。けれど税金は、日本に住む私たち国民が、平和に安全に気持ち良く暮らしていくために必要不可欠なものだという事を知り、きちんと払っていかねければならない事を改めて痛感しました。海外の国々と比べると税金が二十パーセント以上の国も多くてとても驚きました。そう考えると日本は本当に恵まれているのだと感じました。